

ミュンスターへようこそ！

どこか特別な街、それがミュンスターだ。－ドイツの歴史上でハイライトを浴びた場所でもあり、新しい時代の国際的ハンザ同盟の一員として活躍している都市でもある。大学都市として持つミュンスターの魅力と特色がその古い歴史とうまく合わさって、いろいろな意味で面白みのある街といえるかもしれない。



ミュンスターの街の歴史は興味深い。市の中心地にある数々の美術館や劇場および催し物を通して、生きた歴史を直接味わうことができ、毎年たくさんの人が訪れる。また、評判の高いミュンスター大学や数々の専門単科大学は、学問の発信地であると同時に世界各国からの学生を含めおよそ5万人もの学生をつねに受け入れている。

ミュンスターは刺激のある街だ。ここで経験する生活、仕事、勉強、そしてショッピング等を通して、この街を自分で見て感じてミュンスターの魅力を是非発見してほしい。

ミュンスターの歴史へショートトリップ



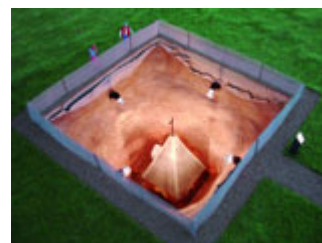
現在ミュンスターにある道路や建物は1200年以上の歴史を物語っている。ドーム広場(Domplatz)にそびえ立つセントパウルス大寺院と大寺院宝庫からは、その1200年以上にもなる司教管区の歴史(700年前後から司教たちの居住地になった)がうかがえる。

そこから目と鼻の先にあるプリンチパルマルクト(Prinzipalmarkt)には、歴史的なハンザ同盟都市であったことの形跡があちこちに見られる。中世時代の都市貴族の屋敷とこの時代の象徴であるアーチで飾られたこの通りは今日ドイツで最も美しいショッピングモールとして知られている。ここには1648年にヴェストファーレン平和条約が結ばれたラットハウス(市庁舎)も建っている。

1787年以来領主司教のレジデンスであったミュンスター城 (Münsters Stadtschloss) は現在はウィルヘルムス大学 - ドイツにおけるもっとも大きな大学のひとつであるが - の管理のもとにある。第二次世界大戦時に街の大部分が破壊されたが、ミュンスターの市民の手によって昔のままの町並みを再生するように修復された。

ミュンスター自体は人口28万人のモダンな大都市であり、ミュンスターとその周辺をあわせ150万人の人が住む地域の中心でもある。ドイツ国内の都市や海外の都市と比較して、誰もが共感することは『自転車の街』であり、『ヨーロッパにおける環境首都』、そして『最も住みやすい街』 (*LivCom Award 2004* カテゴリー 人口 250.000-700.000人) であることだ。

ミュンスターのアートとカルチャー



多様性に富んでいて、活気あふれる大胆な文化 - それがミュンスターの文化だ。1977年以来10年ごとに現代アートの世界的芸術家たちがここに集まり、『公共の空間におけるアート』について発表して来た。そのときに披露された作品はミュンスターの街の一部になる、つまり10年ごとに新しい作品が街に持ち込まれる。そういうわけで街のあちこちで個性的な作品を目にすることになる。ミュンスターの街並みを歩くこと = 芸術鑑賞となるわけだ。

ミュンスターには30以上の美術館や博物館があり、アートと歴史を思う存分楽しむことができる。代表的なものにピカソ美術館やヴェストファーレン州立美術館がある。またミュンスターアートアカデミーからは若いアバンギャルドが次々と誕生し、彼らの作品は数々の展示場、ギャラリー、アトリエで鑑賞することができる。

『演劇を見てみたい!』そういった希望にもこたえることができる。ミュンスターテアター『ランドシャフト (風景)』では古典的な演劇からエキスペリメンタルなものまで上演されている。もしドイツ語がまったく理解できないとしても、市立劇場のオペラ、ミュージカルもしくは世界クラスのアーティストから成り立つGOP-Variété の公演 - は一見の価値があるだろう。

音楽 - ミュンスターシンフォニーオーケストラの演奏あるいは、市内に数あるクラブのDJの演奏 - も演劇と同様インターナショナルだ。またジャズにおいてもぬかりがない。ミュンスターはジャズフェスティバルの主催者で、参加するバンドについては、ゲストリストに Who is Who といったかたちでグループが紹介されている。

ミュンスターで過ごすフリータイム

分厚いミュンスター行事カレンダー、街の中心にあるオアシス、街をめぐらす自転車道とどれをとってもミュンスターで退屈することはなさそうだ。車の通らないプロミナーデ (Promenade) を通って旧市街地 (Altstadt) の周りをめぐったり、お城の裏手にあるボタニックガーデンを散歩したり、ヨットをのりにアーゼー (湖) に行くのもわるくない。



でも、ミュンスターを実感するにはやっぱり『自転車』に限るだろう。『自転車の街

ミュンスター』と言われるだけあって、ここでのサイクリングはとても快適だ。ミュンスター市内とその近郊に4500km及ぶ自転車道がひかれ、この地域に独特な田園風景とワッサーシュロス (お堀がめくらされた城) をつないでいる。その上、ほとんどの自転車道はインラインスケートにも適している。

自転車、乗馬、スケートボード、ゴルフに興味のない人もミュンスター行事カレンダーを覗いてみる価値はある。行事カレンダーの中からいくつかここに紹介してみよう。

<ユーロシティフェスト> (Eurocityfest)

3日間にわたるパーティーとエンターテイメント

。5月に行われるこのお祭りは、この地域では最も大きなオープンエアパーティー。数々の舞台にアカペラからロックまでのニューカマーたちがぞくぞく登場する。

www.eurocityfest.de

<勝利者のトーナメント> (Turnier der Sieger) –

毎年、乗馬トーナメントシーズンの終わりである8月にドイツの乗馬のエリートたちが集まり、バロック調のシュタットシュロス（お城）の前に華々しく設置された舞台にて、障害飛越競技（ショージャンプ）と馬場馬術競技（ドレッサーージュ）を競い合う。www.turnierdersieger.de

<シヨールーム> (Schauraum) –

ミュンスターの美術館とギャラリーのお祭りで、ミュンスターのアートとカルチャーをいつもとは違った方法であじわうことができる。およそ40の美術館や博物館そしてギャラリーで同時に開催され、一風変わったキャンペーンが開かれ、夜遅くまで楽しめる。www.tourismus.muenster.de

<ゼント - 遊園地> (Send) –

年に3回春、夏、秋とお城の前でミュンスター地方でもっとも大きなゼンドが催される。ゼンドではジェットコースターから出店までさまざまなアトラクションがあり、100万人以上の人々が毎年訪れる。見ものは金曜日の夜の花火！

www.muenster.de/stadt/send

ミュンスターでのショッピング&ナイトライフ

歴史のあるミュンスターの旧市街地には独特のショッピングモールが展開されている。エレガントなブランド店、トラディショナルな宝石店、愛情一杯にかざられた骨董品店がプリンチパルマルクトにそれぞれの風格を出して並んでいる。広々とした歩行者天国とそれにつながる横道にならぶお店を探索しながら、掘り出し物を探すのはきっと楽しい。本屋を始め、すべてが揃ったデパート、そして旧市街地の真ん中に位置するミュンスターのショッピングセンターミュンスターアカーデ (Münster-Arkaden) が待ち構えている。



ミュンスターの生活の大切な一部である『コーヒーブレイク』。買物で歩き疲れたら、あちこちにあるカフェでパノラマを楽しみながら一休み。また、この州ヴェストファーレンに多く見られる形式の居酒屋やレストランでおなが一杯になったら、再びショッピングツアーへ、 - あるいはミュンスターのナイトライフへ出発。

900軒以上のレストラン、居酒屋、バーの中から必ず好みに合ったお店が見つかるはずだ。例えば、旧市街地に位置し、ミュンスターらしいお店がならぶクーフィアテル区 (Kuhviertel)

には学生が集まる居酒屋も多い。またドルトムント・エムス・カナル (運河) に隣接するクリエイティブな港通り、ミュンスターシュタットハーフェン (Münsters Stadthafen)

も人気のあるスポットだ。ここ魅力的なウォーターフロントには出版社、アーティスト、広告代理店をはじめとし、美食家が集まるおしゃれなレストラン、映画館、ディスコや劇場も並んでいる。

ミュンスターで学ぶ

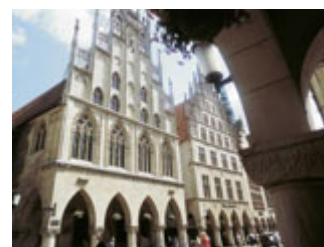
ミュンスターに住む学生のおよそ5万人にものぼり、世界各国からの学生がそれぞれ幅広い選択肢のなかから選んだ専門を学んでいる。ここヴェストファーレン州立ウィルヘルム大学だけでも15の専門分野があり、ドイツでもっとも大きな大学のひとつに数えられる。



大学、専門単科大学 (Fachhochschule)、哲学 - 神学大学、カトリック単科大学、NRW州公共機関管理育成専科大学、ドイツ警察大学、公共機関財務育成専科大学、そしてカルチャーアカデミーといった様々な学校がミュンスターにあり、勿論各機関同志の横のつながりは厚い。また各機関とも交換留学に力を入れていて、オランダのエムシェデからラオスのヴィエンチャンまで合計400以上にもなる世界の学校や機関とパートナーシップが結ばれている。

元来ミュンスターで学べる学問として名高い神学、経営学、法学、教育学、歴史学、数学、化学、物質学、生物学そして医学に加えて、新しく設置された専門生物学センター (ミュンスター大学)、宗教学研究センター (同)、また単科大学の医学技術科もこれから注目を浴びることになるだろう。

みどころ一杯の観光ポイント



市庁舎 (Rathaus) と平和の間 (Friedenssaal) -

ミュンスターの市庁舎は14世紀半ばのゴシック様式の建築物だ。その時代を代表する切妻が見られるアーチ型の

建物は、1950年代に元のかたちを残したまま修復された。フリーデンスザール (平和の間) ではヴェストファーレン平和条約の一部であるスペインとオランダの平和条約の誓約が1648年に行われた。

セント パウルスドーム (St.-Paulus-Dom) -

現在のドームの外貌は、ほぼ13世紀に建築されたときのままを残している。その中にある天体時計 (Die astronomische Uhr) -

中世後半の作品でありながら、2071年まで表示されている) とヨーロッパを代表する金細工と織物文化が納められている大寺院宝庫は是非見て欲しい。。

セント ランバーティー教会 (St. Lamberti) -

1375年から1450年にかけて建てられたこの教会の塔に備え付けられた3つの檻がなんと言っても有名であろう。16世紀中ごろ実際に、3人の洗礼運動の指揮者の死体とその檻に見世物として入れられた。また、教会の塔からは、時間を告げる銅製の角笛の音が毎夜聞こえてくる。

エアブドロステンホーフ (Erbdrostenhof) - バロック建築家ヨハン コンラッド シュラウンの1753年から57年の代表作品であり、隣接するクレメント教会とドミニカ教会とともに『バロックアイランド』を塩通り (Salzstraße) に形成している。

背負いかごの商人 (Kiepenkerl) -

ミュンスター地域にやってきた行商人の銅像である。短めの作業着に首に巻いた赤いスカーフ、帽子、杖とパイプを身につけたキーペンケアーは街と地方の商品交換と情報交換両方の役目を果たしていた。

ヴェストファーレン文化歴史美術館 (Westfälisches Landesmuseum für Kunst und Kulturgeschichte) -

この美術館には中世時代初めの絵画、彫刻やステンドグラス、またゴシック時代後半の作品、ヴェストファーレン州特有の板に描かれた作品のコレクションが展示されている。またモダンアートの分野にはドイツ印象派から国際的アバンギャルドの作品も見られる。

市立美術館 (Stadtmuseum) -

当時のデパートを美術館に建て直したものであり、ミュンスター市が出来上がったころから現在にいたるまでの歴史と文化を体験することができる。

漆美術館 (Museum für Lackkunst) -

漆が施された東アジアの繊細な作品、インドやペルシャのイスラム漆細工、およびバロックとロココ時代におけるヨーロッパを代表する漆細工の工房から精選された作品が展示されている。

ピカソ美術館 (Graphikmuseum Pablo Picasso) -

ケーニヒ通りにある宮殿の中にあるこの美術館は2000年に作られた。ピカソの作品だけが展示された一番最初で、唯一の美術館である。

一般展示のほか多くの特別展示も興味深い。

市立劇場 (Stadttheater 、 Städtische Bühnen) - 建築家チーム

(ダイルマン・フォン

ハウゼン・ラーベ・ルーナオ) によって、戦後建てられた。複雑に内側で交差している建物の構造は『自由な雷鳴 (befreiender Donnerschlag)

』と名づけられ1956年に完成した。

ミュンスター城 (Schloss) -

お城の正面の像が目立つ、当時の領主司教のレジデンスであるが、1767年から20年かけてJ.C.シュラウンによって建てられ、『3枚の翼』と名づけられた。戦後、本来の形に外装が修復された。

ボタニックガーデン (Botanischer Garten) -

お城の左側にある小さな門をくぐっていくと、古い木々のあるお城の裏庭につながっている。その向こうには200年以上にもなる大学のボタニックガーデンがある。

遊歩道 (Promenade) -

その昔市の周りにめぐらされた壁の代わりに、現在は目一杯の緑が旧市街地を囲っている。歩行者、自転車、インラインスケーターたちが、車の通らない、二重に植え込まれた菩提樹のこの並木通りを思い思いに楽しんでいる。

アーゼー湖周辺の4つのポイント -

散歩、ジョギング、ウォータースポーツが楽しめる街中のオアシス、アーゼー湖であるが、湖の北側には是非訪ねてみたい4つのポイントがある。全天候型動物園 (Allwetterzoo)、馬博物館、自然科学博物館、野外博物館である。動物園には300種類にもおよぶ動物計3000頭が飼育されて、また水族館やイルカ専用飼育場も併設されている。2002年に新しく出来たヴェストファーレン州馬博物館も見逃さない。恐竜
ミュンスター(ウエストファーレン州)の観光インフォメーション

4つ目のポイント、ヴェストファーレン州立風車小屋・野外博物館ではミュンスターの昔の生活の様子が窺える。例えば、古い十字型風車、お堀のめぐらされた盛大なお屋敷、鉄工所、村のお店といったものが展示されている。

リュッシュハウス (Rüschaus) - この家屋は1745年から1748年にかけて J.C. シュラウンの家族の別邸として彼自身が手がけた建築物であり、アネット フォンドロステ - ヒュスルホーフの生家として有名になった。お堀のあるバロック調の庭はオリジナルの見取り図を元に再生された。

ミュンスターへの交通

大学都市ミュンスターへの交通は、車、電車、飛行機とどれも便利だ。



ミュンスターはルール工業地帯の北に位置し、オートバーン (高速道路) A1とA43に直接面している。

ミュンスター中央駅は中心街から数分のところにあり、ドイツとヨーロッパの大都市を結ぶIC、ECとICE各特急が止まる。

ミュンスター・オスナブルック空港 (FMO) からはドイツ国内およびヨーロッパの各都市への便が出ている。詳細はwww.fmo.de

その他お問い合わせ

ミュンスターでの特別な計画、ホテルの予約等については下記の各問い合わせ事務所まで、お気軽に。

ミュンスターマーケティング 一般的な問い合わせ (Münster Marketing, allgemeine Informationen) :
Tel. 0049(0)251 492-2710
Fax: 0049(0)251 492-7743
E-Mail info@stadt-muenster.de

ミュンスターマーケティング
旅行に関する (ホテル予約等) 問い合わせ (Münster Marketing, Touristik-Angebote) :
Tel. 0049(0)251 492-2726
Fax 0049(0)251 492-7759
E-Mail tourismus@stadt-muenster.de
www.tourismus.muenster.de

ミュンスターの市内観光ツアーに関するお問い合わせ:

Stadt-Lupe Münster e.V.
Tel. 0049(0)251 492-2770
Fax 0049(0)251 492-7747
E-Mail stadtlupe@muenster.org
www.stadt-lupe.de

StattReisen Münster e.V.
Tel. 0049(0)251 4140-333
Fax 0049(0)251 4140-344
E-Mail info@stattreisen-muenster.de
www.stattreisen-muenster.de